

平成21年度事業計画

財団法人豊田市国際交流協会（Toyota International Association: TIA）は、1988年10月の設立以来、「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生の活動を三本柱とし、地域の国際化を推進しております。

平成20年度は、「とよたグローバルスクエア」を活用した事業の拡充と外国人防災体制のさらなる強化や外国人のための日本語教育普及支援および国際交流市民事業への助成などの既存事業の展開を進めるとともに、日本ブラジル交流年記念事業に加えTIA設立20周年記念事業を新規事業の柱として取組んでまいりました。

平成21年度は、厳しい経済情勢の中、資金・人的リソースの更なる効率化を進め既存事業の充実を図るとともに、緊急雇用対策への取組みや、協会設立時の初心に立ち返り「国際の日」の制定とその普及活動を通じて市民の皆様へ「国際」に思いを馳せる契機として頂く等、地域の国際化の更なる進展に向けた新たな活動も展開してまいります。

活動に当たっては、常にボランティアの皆様と手を携え関係諸団体や企業との連携を図り共働を進めることで、市民の皆様の期待に応えることのできる財団運営を目指します。

1 交流事業

（1）国際親善受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深める。随時検討の上、受け入れる。

ア アメリカ・ウエイン州立大学（デトロイト）

時 期 平成21年 6月26日（金）～7月2日（木）

イ 桜花学園大学留学生（韓国籍）

時 期 平成21年11月

（2）おいでんまつり参加

「豊田おいでんまつり」に踊り連「トヨタリアン」を結成して参加する。まつりの体験と相互交流を深めるとともに、おいでんまつりの国際化に寄与する。

時 期 平成21年 7月

参 加 者 外国人・日本人60名

（3）International Educators to Japan（IEJ）プログラム受入事業

海外進出日系企業の駐在員子弟を受け入れている現地公立学校の教師を日本に招待するプログラムへの協力。デトロイトなどからの教師を豊田市で受け入れ、ホームステイ、市内の学校訪問等を実施する。

時 期 平成21年 7月2日（木）～ 4日（土）

受入人数 34名

（4）World Campus International（WCI）受入事業

前身であるUp With Peopleの精神を引き継ぎ、参加者はホームステイや地域活動などを通じて国際感覚やボランティア精神、リーダーシップ能力を養うプログラムへの協力。また参加者と市民との国際交流を図る。

時 期 平成21年 4月4日（土）～9日（木）

受入人数 23名

(5) T I A ナショナルデー

財団法人あすてと連携し、とよたグローバルスクエアにて世界各国の文化や生活を紹介する機会を毎週設ける。在住外国人や市民にボランティア活動の場を提供し、フレンドシップ事業の理念である市民主体の国際交流の継承と発展に寄与する。

(6) 国際の日の制定と普及（新規）

T I A が設立された10月1日を「国際の日」と定め、豊田市の住民一人一人が豊田市の一員であると同時に国際社会の一員であることを意識し、行動することができるようにPRを行う。

(7) その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体と共に開催し、交流事業の多様化を図る。随時、内容検討の上実施する。

2 相談・斡旋事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳や国際交流・支援など多文化共生を実践していく人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開する。また、登録者及び一般市民のボランティア活動に対する意識向上を図る事業を開催する。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

個人、又はグループボランティアとして年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する方には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図る。

・個人ボランティア

通訳・翻訳

交流企画・推進ボランティア
業務サポート（図書整理など）
ホームステイ・ホームビジット

・グループボランティア

国際交流

オープンハート、日本文化紹介

国際協力

ほづみ会

在住外国人と交流・支援

E-IFF、ひらがなういずゆー、
日本語サロン、Alpha日本語教室、
日本語教室はじめのいっぽ

学習・情報提供

海外生活体験者グループ

イ ボランティア意見交換会の開催

T I A の事業展開状況、ボランティアグループの活動状況の情報共有、また意見交換を通し課題解決に向けて開催。T I A の諸事業への参加・参画をグループのメンバーに促すと共に、ボランティア活動環境の整備に努める。

ウ 日本語支援ボランティアオリエンテーション講座

日本語支援ボランティアを初めて行う人を対象に年間を通してオリエンテーションを開催。市内外国人の現状や日本語学習の進め方を実践的に学ぶ。

時 期 平成21年5月～随時

対 象 講座終了後にボランティア活動のできる市民

(2) 外国人多言語相談事業

各種団体と連携しながら、外国人が抱える様々な分野の相談に乗り、多文化共生のまちづくりを推進する。21年度もポルトガル語（土・日）、中国語（火午後・土午前）の体制を継続する。

また、雇用状況の悪化に伴い急増している外国人からの相談に対応するため、平日（火～金）ポルトガル語相談を実施する。（新規）

(3) 通訳派遣事業

外国人が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に通訳者を派遣する。また増加する企業やホテルなどの依頼に対し、緊急のケースに限り有料で派遣する。

また通訳人材バンクでは、ボランティアの更なる確保と対応言語の充実に努める。

(4) 翻訳事業

市役所などの公的機関に提出する文書など公的書類に限り、翻訳者を確保する。近年増加する市からの中国語翻訳については、担当課と連携を取り対応にあたる。

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校の総合学習や交流館等で取組みが行われている国際理解教育プログラムについて関連資料の紹介や講師派遣の支援を行い、国際理解教育を推進する。また依頼に応じ、市職員や一般市民対象の国際理解教育講座を企画・開催する。

(6) 子ども英語交流補助ボランティア（新規）

豊田市教育委員会と協力して、小学校で行われている英語学習の補助をするボランティアを募り、各学校へ派遣する。

時 期 平成21年5月～随時

対 象 18歳以上で普通自動車運転免許を持っており、子どもに英語のゲームや発音指導をしてくれる市民

(7) 国際協力機構（JICA）ボランティア説明会開催事業（新規）

JICAと連携し、海外ボランティアに興味を持つ市民への情報提供の場とする。

時 期 平成21年4月25日（土）午後5時～7時

平成21年9月

(8) ブラジル人自助組織設立支援（新規）

外国人市民の半数を占めるブラジル人当事者が立ちあげる自助グループについて、円滑かつ効果的な活動ができるようサポートをしていく。

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

市内在住外国人が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施する。

時 期 前期：平成21年 4月～ 9月 毎週土曜日全20回

後期：平成21年10月～翌年 3月 毎週土曜日全20回

ク ラ ス 入門～初級レベルの4クラス 各クラス20名程度

(2) 国際理解教育セミナー

人権や平和など地球規模の問題への理解を深め、解決のため実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとし、参加体験型のセミナーを行う。

開催頻度 年3回程度

(3) 外国語講座

ア ハンゲル講座

依然注目度の高い隣国・韓国。本講座では入門レベルのハンゲルを学ぶ。昼間講座と夜間講座を実施する。

時 期 前期：平成21年 5月～9月

後期：平成21年12月～平成22年 3月

イ 中国語講座

北京オリンピックなどで注目を浴び、また市内外国人登録人数が第2位である中国への文化理解を図るとともに、日本人と中国人の友好親善のきっかけづくりの場とする。

時 期 平成21年 4月～

ウ スペイン語講座

ラテンアメリカ出身者が多い豊田市の現状を踏まえ、入門レベルのスペイン語講座を開催することで市民のラテンアメリカ諸国に対する理解を進める。

時 期 平成21年 4月～

エ その他外国語講座

上記以外の外国語講座について、市内のニーズや講師の確保に応じて選択し、いずれも3か月を1ターム程度で開催する。

時 期 平成21年 4月～ ポルトガル語ほか2講座

(4) 外国人防災体制の確立

豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座

災害時における通訳・翻訳ボランティアの確保を図り、多言語の登録者数のさらなる増加につなげる。また登録ボランティアとの連携を視野に入れながら、外国人防災体制の整備に寄与できるような取組みも同時に進めていく。

時 期 平成21年10月～

対 象 日本語および外国語でコミュニケーションができる市民

(5) 小学生国際理解教育学校招待プログラム

市内の小学生を招いて国際理解教育を実施する。国際理解教育に詳しい大学生を中心とした市民グループが授業の運営を行う。各小学校からの申込みを受け、グループとのスケジュールを調整し実施する。

対 象 市立小学校9校の小学校4年生～6年生700人

(6) その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種芸術・文化紹介事業を類似の団体とともに開催し、研修啓発事業の多様化を図る。随時、内容検討のうえ実施。

(7) 緊急日本語講座（新規）

経済不況により、職を失った外国人労働者を対象に基礎的な日本語が身につく学

習の場を設置する。

時 期 平成21年5月～
人 数 20名×2クラス 40名

(8) マンツーマン日本語マッチング制度（新規）

既存の日本語講座が受付直後に定員に達する状況等を踏まえ、増えつつある日本語学習へのニーズに対応するためのマンツーマンでの日本語学習の効果的な方法について調査、検討し、実践に向けてのモデル事業として取り組む。

4 情報収集・提供事業

(1) T I A機関誌発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等を機関誌として発行する。国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、県・市町村国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティア等に配布する。

発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）
発行部数 3,000部／1回

(2) 国際理解教育ニューズレター発行事業

国際理解教育の手法や教材の紹介、セミナー等で実施したプログラムの紹介、セミナー開催の告知など、この分野に関心のある人々に充実した情報を提供する。

発行回数 年3回
発行部数 2,500部／1回

(3) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報誌に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載する。

発行回数 24回（毎号掲載）
発行部数 約152,000部／1回

(4) 各種出版事業

本協会主催の各種事業について、協会ホームページを通じて情報提供を行なう。

(5) T I Aホームページの運営

多言語による情報提供について、今年度は提供できる情報の量と質の拡充を図る。特に生活に役立つ情報や観光情報など外部の機関と連携して情報収集を進める。

(6) 多文化カレンダーの作成

年々増加の一途をたどる外国籍市民との共生を促進するため「多文化カレンダー」を作成、異文化の理解を図っていく。

5 国際交流団体育成事業

国際交流機関等が実施する地域の国際交流事業に対し、後援を始めとして、積極的な支援参加を行う。市民主体のボランティア活動を活性化させる方策を検討し、支援をする。

(1) 草の根の国際交流の推進

内 容 とよた国際交流市民会議の開催
時 期 平成21年 4月～平成22年 3月の間で随時

(2) 助成金事業

地域の国際交流・国際協力を目的とした新規事業への支援を行う。今年度は特に

「外国人市民のエンパワーメントをサポートする」事業を対象に助成金を交付する。
また案内を多言語で行い、外国人グループの活動の発掘、活性化も図る。

- | | | | | |
|--------------|----------|------------------|------------------|-------|
| 時 期 | 1次募集 | 平成21年 | 1月15日～ | 2月15日 |
| (対象：平成21年 | 4月 | 1日～平成22年 | 3月31日に実施・完了する事業) | |
| | 2次募集 | 平成21年 | 6月15日～ | 7月15日 |
| (対象：平成21年10月 | 1日～平成22年 | 3月31日に実施・完了する事業) | | |

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組み

地域の在住外国人が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、さらには在住外国人がもたらす豊かな個性を活かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度見直しなどの検討、関係部署と連携に取り組む。

また、経済状況の厳しい昨今、特に外国人集住都市会議・豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、多文化共生を内包した国際化の推進や外国籍市民へのサポートに努める。さらに、市内においては、教育委員会や学校等との連携のもと、外国人児童生徒が国籍や言葉の違いなどで学習に困難を来し、学業を途中で断念しないようボランティアと協力して支援の方策を探る。

さらに、昨年度より開始された「とよた日本語学習支援システム」(豊田市より名古屋大学受託事業)のシステムコーディネーターを配置し、TIA事務局の一角を活動場所として提供することにより、豊田市と協力しながら、今後、外国籍市民に対する日本語学習の支援を継続していく。

(2) その他の調査・企画事業の取組み

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割、組織体制等を確立するため、国際化に携わる関係者との意見交換や所要の調査等を実施する。

7 とよたグローバルスクエア運営事業

地域の国際交流の拠点として、国際交流や海外に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地等に関する情報の提供、各種相談への対応のほか、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場としてとよたグローバルスクエアを運営する。

(1) ライブラリー、新聞・雑誌コーナーの運営

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために必要とする図書・雑誌・新聞・資料・ビデオ等を収集・提供する。

(2) 公衆インターネット端末(コインPC)、無線LANの設置

コインPCと無線LANを活用し、とよたグローバルスクエアを訪れる多くの外国人や市民への情報提供サービスの向上を図る。

(3) 掲示板など情報コーナーの充実

掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけとする。また、多言語の情報・国際理解のイベント等の案内を収集・提供する。

8 その他 ボランティアグループなど活動計画

T I A は各グループに対し、活動環境の整備と必要な個別の支援を実施する。

(1) 国際交流

ア オープンハート

各種ホームステイにおけるコーディネートを行う。

ウエイン州立大学 6月26日(金)～7月2日(木)

桜花学園大学留学生(韓国籍) 11月など

イ 日本文化紹介

外国人への日本文化紹介(茶道・書道・華道・着付け・折り紙等)

(2) 国際協力

ア ほづみ会

タイ山岳民族の子どもの教育支援を目的としたバザーやタイ理解講座の実施。

(3) 在住外国人と交流・支援

ア E-IFF

英語サロンの開催、英語によるガイドツアーの企画・実施

その他随時通訳・翻訳活動の展開

イ ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を2言語(ポルトガル語・英語)表記も含め提供する。年3回発行。

小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布

ウ 日本語サロン

毎週水曜日の日本語教室開催、学習者のための託児、子育て支援。

開講時期：前期4月～9月 後期10月～3月

エ Alpha日本語教室

毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業(もちつき、郊外学習)の実施。

開講時期：5月～8月、9月～12月、1月～4月の計3期

オ 日本語教室はじめのいっぽ(新規)

毎週日曜日に行われていた自主サークルがボランティアグループとして新たに加わり、入門・初級レベルに特化した日本語教室を実施する予定。

開講時期：前期4月～9月 後期10月～3月

(4) 学習・情報提供

ア 海外生活体験者グループ

海外生活サロン(海外の日本人学校の情報を共有する会) 年1回

(5) T I A 自主サークル

ハングル・スペイン語・ポルトガル語の各自主サークルに加えて、中国語や英語の自主サークルが活動を始めており、T I Aとしては、それらを今後も引き続き支援していく予定。また新たに活動を始める自主サークルについては、「とよたグローバルスクエア内部規定」に即し、その定義や目的などを確認して支援する。